

様式 1 1

指定管理者の評価に係る合議の概要

施設名	箕面市立市民ギャラリー	
指定管理者名	公益財団法人箕面市国際交流協会	
開催日	令和7年（2025年）9月3日（水）	
開催場所	箕面市立市民ギャラリー メインギャラリー	
合議の出席者 （順不同）	金子会計事務所 公認会計士・税理士 （公財）箕面市メイプル文化財団 常務理事 箕面市美術協会 会長 箕面船場まちづくり協議会 代表 元（公財）箕面市国際交流協会 理事長	金子 真也 氏 木村 均 氏 九後 稔 氏 竹綱 章浩 氏 荻野 克彦 氏

【概要】別添のとおり

# 様式 1 1

## 内容

令和7年9月3日（水）に実施した箕面市立市民ギャラリー指定管理者にかかる合議について、その内容及び結果をとりまとめました。

### 1) 指定管理者からの報告

- ・ 項番1～6 事業結果報告およびアンケート結果、指定管理者の考え等

### 2) 合議メンバーからの意見及びその回答

- ・ 項番1「収支計算書について」、項番3「施設利用者アンケート集計について」経営的に厳しいと感じる。運営方針について今後検討してみてもどうか。アンケート結果について、市外の利用者が多いとなると、誰に向けて運営しているのか分からないため、市内の利用者も増えるようあわせて検討してみてもどうか。

（指定管理者）

利益を生み出しながら多くの利用者に満足いただける施設となるよう、運営について検討していく。

- ・ 項番3「施設利用者アンケート集計について」カフェ利用者からの回答が多いとのことだが、カフェはあくまで自主事業であるため、指定管理事業のアンケート結果となるよう来年度集計方法を検討いただきたい。

（指定管理者）

集計期間を延長するなど、より精度の高い集計となるよう検討していく。

- ・ 項番3「利用件数と利用者数年計表について」開設一年目の昨年度と比較して、今年度のギャラリーの稼働率はどう変化しているか。ギャラリーとしては規模が小さいため、これまでのような市民展などの使い方はできないため、活用を工夫しなければ限界があると思う。

（指定管理者）

開設当初から、室内の温湿度等の影響で作品によっては展示が難しいとの意見を利用者から頂いており、今年度の稼働率は約29%程度から上昇していない。今後もギャラリーとしてだけでなく、あらゆる用途で利用されるよう検討していく。

- ・ その他「ギャラリーの利用について」メインギャラリーが狭いこと、トイレが近辺にないこと、チラシの配架などギャラリー入り口周辺に物が多いことが懸念される。また、二日間休館日があり、搬入のことを考慮すると、展覧会を開催するにあたって十分な日にちが確保できない。以前のサンプラザ1号館の市民ギャラリーや他市のギャラリーと比較すると開館日数やスタッフの協力体制等で使い勝手の良さでは負けていると感じる。ただ、1年間使う中でオープンギャラリーの使いようによっては、広く空間を活用することができ、ギャラリーとしての可能性を感じられた。カフェを併設していることも強みであるので、この規模でできることをこれからも考えていくとよい。

（指定管理者）

チラシの配架については、道路占用許可のエリアや駅から吹き込む鉄道の走行風などを考慮して現在の場所となった。人員配置の関係から休館日を2日に設定している。今後、ギャラリーとカフェの相互利用の好事例ができたので、拡大して展開できるよう検討していく。

# 様式 1 1

- ・その他「ギャラリーの利用について」以前利用した際に、搬入や利用にあたっての注意点を考慮し当日臨んだが、それでも実際に利用していく中で注意点や対応に迫られる事案が発生したため、注意事項等記載されたマニュアルがあると良い。それにより、新規利用者も増えるのではないかと考える。

(指定管理者)

今後検討していく。

- ・その他「ギャラリーの利用について」施設のハード面等、仕方ない部分はあるため、船場という新しいまちづくりが進む中で、アートを発信する拠点としての位置にあると思う。情報発信やギャラリーとしてのアピールにもっと注力していった方がいい。アートのイメージがないため、壁に装飾をしたり、市民ギャラリーの入り口付近に不定期でモニュメントを飾るなど、ギャラリーの良い使い方を発見してPRすることが必要。また、企画会議なども定期的を開催すれば良いと思う。大学に近いという立地なので、学生の居場所として、学生同士の交流の場、市民との交流の場となることで、ギャラリーの存在意義がもっと高まると思う。

(指定管理者)

ギャラリーとしての知名度を上げられるよう、PR方法等検討していくが、箕面市や地域団体等とも連携した事業を展開していきたい。

- ・その他 売上げを伸ばすために他市のように語学講座をもっと充実すべきと考えるが、受講者数が少ないのか？

(指定管理者)

会議室やメインギャラリーを使いながら、語学講座を4講座、日本語講座を3講座開設している。1週間の利用があるギャラリーとの兼ね合いや、時間帯やアクセスなどの観点から受講者数は伸び悩んでいるが、運用方法を今後検討していく。

### 3) 総評

本施設のハード整備面に対しては難しい点が見受けられるものの、一年間の管理運営を通して課題と強みが見えてきた。今後施設の知名度を上げる中でさまざまな利用者呼び込み、特性を生かした活用について今後も継続的に検討していくべきであると確認しました。全体のアンケート結果の点からみても、総じて指定管理者として円滑な運営を行っている、市として評価いたします。